

【高等教育機関等の連携】

1	県内の高等学校卒業後の状況.....	1
2	県内の大学、大学院等の状況.....	2
3	(公社) ふじのくに地域・大学コンソーシアムの概要.....	6
4	(公社) ふじのくに地域・大学コンソーシアムの事業	
	(1) 短期集中型単位互換授業.....	7
	(2) 西部地域連携事業実施委員会.....	8
5	「大学コンソーシアムへの支援」に関する事業レビューの結果....	9
6	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点.....	10
7	県内大学の寄附講座等の実施状況.....	11

1 県内の高等学校卒業後の状況

静岡県学校基本統計速報(平成27年5月1日現在速報)より抜粋

(全日制課程・定時制課程)

(1) 卒業者数

- 平成27年3月の卒業者は32,404人(男16,575人、女15,829人)で、前年に比べ678人増加した。

(2) 大学等進学者及び大学等進学率

- 大学(短大等を含む)進学者は17,450人(男8,894人、女8,556人)で、前年に比べ612人増加した。
- 現役高校生の大学等進学率は53.9%で、前年に比べ0.8ポイント上昇した。男子の進学率は53.7%、女子の進学率は54.1%で、前年に比べ、男子は1.1ポイント上昇し、女子は0.5ポイント上昇した。

(3) 就職者及び卒業者に占める就職者の割合

- 就職者総数は7,140人(男4,161人、女2,979人)で、前年に比べ319人増加した。このうち、正規の職員等は7,079人(男4,135人、女2,944人)、正規の職員等でない者は55人(男22人、女33人)となっている。
- 進学・入学しながら就職した者は6人(男4人、女2人)となっている。
- 卒業者に占める就職者の割合は22.0%(男25.1%、女18.8%)で、前年に比べ0.5ポイント上昇した。また、就職者のうち県外に就職した割合は8.4%で、前年より1.8ポイント上昇した。

(4) その他の進学者・入学者

- 専修学校等進学者・入学者は6,275人で、前年に比べ193人減少し、公共職業能力開発施設等入学者は160人で、前年に比べ19人増加した。

図12 高等学校卒業者の進路別内訳

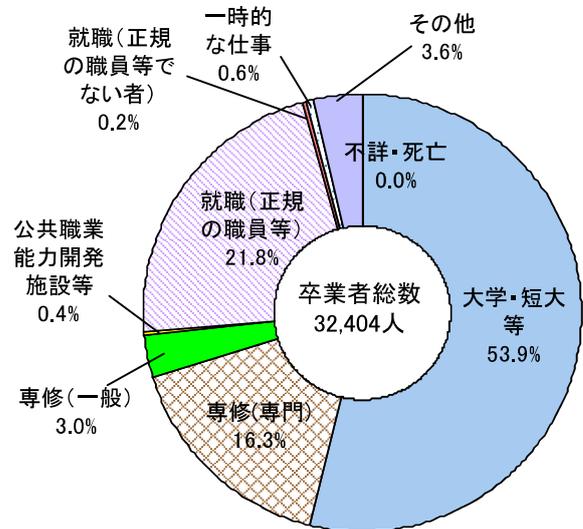


図13 高等学校卒業者数、大学等進学率及び卒業者に占める就職者の割合の推移

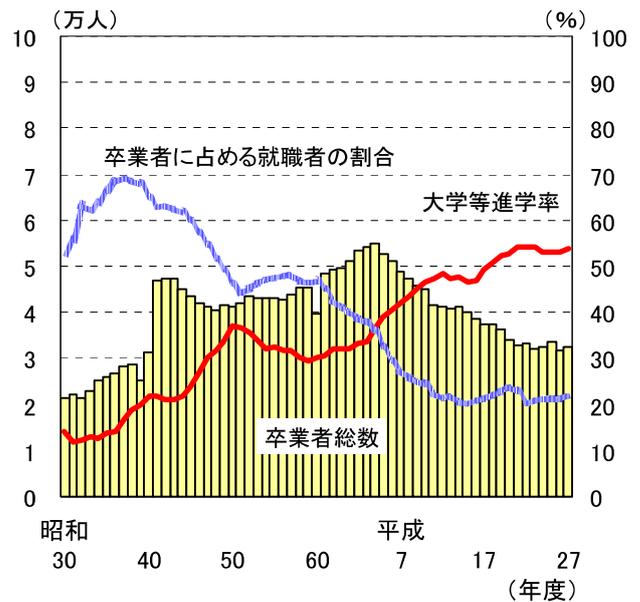


表16 進路別卒業者数(高等学校)

(単位:人、%)

区分	卒業者総数	大学等進学者A	専修学校(専門課程)進学者B	専修学校(一般課程)等入学者C	公共職業能力開発施設等入学者D	就職者					左記以外の者	死亡不詳	(再掲)A B C Dのうち就職者	大学等進学率(%)	卒業者に占める就職者の割合(%)
						就職者計	正規の職員等	正規の職員等でない者	一時的な仕事に就いた者						
平成27年3月	計	32,404	17,450	5,296	979	160	7,134	7,079	55	202	1,181	2	6	53.9	22.0
	男	16,575	8,894	2,020	583	146	4,157	4,135	22	70	705	0	4	53.7	25.1
	女	15,829	8,556	3,276	396	14	2,977	2,944	33	132	476	2	2	54.1	18.8
平成26年3月	計	31,726	16,838	5,450	1,018	141	6,819	-	-	232	1,211	17	2	53.1	21.5
	男	16,034	8,427	2,168	632	119	3,966	-	-	64	650	8	1	52.6	24.7
	女	15,692	8,411	3,282	386	22	2,853	-	-	168	561	9	1	53.6	18.2
増減数	計	678	612	△154	△39	19	315	-	-	△30	△30	△15	4	0.8	0.5
増減率	計	2.1	3.6	△2.8	△3.8	13.5	4.6	-	-	△12.9	△2.5	-	200.0		

2 県内の大学、大学院等の状況

○県内の高等教育機関の設置状況と学生数

1 高等教育機関の設置状況

(1) 学校数

本県内の高等教育機関の設置数は25校で、その内訳は、大学が15校（放送大学は除く）、大学院大学等が3校、短期大学が6校、高等専門学校が1校となっている。

このうち、県内に本部を置いている機関は、17校である。

設置者別では、私立が18校で最も多く、次いで国立4校、公立3校となっている。

区 分	国立	公立	私立	計	本部県内	本部県外
大 学	2	2	11	15	11	4
大学院大学等	1	0	2	3	1	2
短 期 大 学	0	1	5	6	4	2
高等専門学校	1	0	0	1	1	0
計	4	3	18	25	17	8

(2) 地区別キャンパス数

キャンパス数を地区別にみると、中部が13箇所と最も多く、次いで西部11箇所、東部6箇所となっている。（放送大学は除く）

区 分		東部(6)	中部(13)	西部(11)
大 学	国立		静岡大学（静岡キャンパス）	静岡大学（浜松キャンパス） 浜松医科大学
	公立		静岡県立大学	静岡文化芸術大学
	私立	順天堂大学（保健看護学部） 日本大学（国際関係学部） 常葉大学（富士キャンパス）	静岡英和学院大学 常葉大学（静岡キャンパス水落校舎） 常葉大学（静岡キャンパス瀬名校舎） 東海大学（海洋学部） 静岡福祉大学 静岡産業大学（情報学部）	常葉大学（浜松キャンパス） 静岡理工科大学 静岡産業大学（経営学部） 東京女子医科大学（看護学部） 浜松学院大学 聖隷クリストファー大学
大 学 院 大 学 等	国立	総合研究大学院大学		
	公立			
	私立		法政大学大学院静岡サテライトキャンパス	光産業創成大学院大学
短 大	国立			
	公立		静岡県立大学短期大学部	
	私立	日本大学短期大学部	静岡英和学院大学短期大学部 東海大学短期大学部 常葉大学短期大学部	浜松学院大学短期大学部
高 専	国立	沼津工業高等専門学校		
	公立			
	私立			

2 高等教育機関の学生数

(1) 地区別学生数

学生数を地区別に見ると、中部(47.9%)が最も多く、次いで西部(35.8%)、東部(16.3%)の順となっている。

(単位：人)

区 分	計	東部	中部	西部
大 学	32,617	4,753	15,675	12,189
大 学 院	2,435	66	973	1,396
短 期 大 学	2,539	387	1,870	282
高 等 専 門 学 校	1,103	1,103	0	0
計	38,694	6,309	18,518	13,867
割 合	100.0%	16.3%	47.9%	35.8%

(2) 出身地別学生数（大学院を除く）

出身地別の学生数は、県内出身者が22,517人で全体の62.1%となっている。

学校種別ごとにみると、大学では、59.4%である一方、短期大学では8割以上が県内出身者となっている。

(単位：人)

区 分	計	県内出身	県外出身	留学生	その他
大 学	32,617	19,369(59.4%)	12,615	461	172
短期大学	2,539	2,144(84.4%)	367	23	5
高等専門学校	1,103	1,004(91.0%)	93	6	0
計	36,259	22,517(62.1%)	13,075	490	177

※ () 内は県内出身者の割合

※出身地は卒業した高校の所在地による

※その他は、外国の学校を卒業した者や高校卒業認定試験に合格した者

3 高等教育機関の入学者数

(1) 入学者数

H27の入学者数は10,511人でH26よりも19人の減となっている。直近5年間の推移では、全体の増減の傾向は一定していない。しかし、大学院、短期大学では減少の傾向が現れている。

(単位:人)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
大 学	7,808	7,687	8,144	8,107	8,131
大 学 院	1,108	1,005	998	967	957
短 期 大 学	1,440	1,357	1,393	1,221	1,184
高等専門学校	235	234	231	235	239
計	10,591	10,283	10,766	10,530	10,511
大学 + 短大	9,248	9,044	9,537	9,328	9,315

(2) 入学定員

(単位:人)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
大 学	7,679	7,709	7,869	7,954	7,968
大 学 院	1,128	1,140	1,135	1,109	1,039
短 期 大 学	1,585	1,515	1,435	1,355	1,355
高等専門学校	220	220	220	224	224
計	10,612	10,584	10,659	10,642	10,586
大学 + 短大	9,264	9,224	9,304	9,309	9,323

(3) 定員充足率

入学定員に対する入学者数の割合をみると、大学、高等専門学校は定員を満たしているが、大学院、短期大学では定員に満たない状況となっている。

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
大 学	101.7%	99.7%	103.5%	101.9%	102.0%
大 学 院	98.2%	88.2%	87.9%	87.2%	91.1%
短 期 大 学	90.9%	89.6%	97.1%	90.1%	87.4%
高等専門学校	106.8%	106.4%	105.0%	104.9%	106.7%
計	99.8%	97.2%	101.0%	98.9%	99.3%
大学 + 短大	99.8%	98.0%	102.5%	100.2%	99.9%

○卒業後の状況

1 卒業生数

平成27年3月に卒業した学生数は9,725人で、昨年度より56人増加した。

(単位：人)

区 分	H22	H23	H24	H25	H26
大 学 学 院	7,220	7,057	7,090	7,231	7,297
大 学 院	1,026	1,087	992	924	938
短 期 大 学	1,293	1,350	1,356	1,289	1,277
高等専門学校	186	223	212	225	213
計	9,725	9,717	9,650	9,669	9,725
増 減	△196	△8	△67	19	56

2 進路別卒業生数

H26に卒業し就職した者のうち、県内に留まった者の割合は58.3%で、H25と比べて減少している。

(単位：人)

区 分	H22	H23	H24	H25	H26
卒業生数計	9,725	9,717	9,650	9,669	9,725
就職者 A	6,730	6,964	6,887	7,157	7,456
うち県内就職者 B	4,028	4,130	4,077	4,376	4,345
県内残留率 B/A	59.9%	59.3%	59.2%	61.1%	58.3%
進学者 C	1,291	1,258	1,214	1,165	1,150
うち県内進学 D	945	887	894	869	867
県内残留率 D/C	73.2%	70.5%	73.6%	74.6%	75.4%
その他	1,704	1,495	1,549	1,347	1,119

※その他は、就職や進学準備中の者、一時的な職についた者、所在地が不明な者など

3 (公社) ふじのくに地域・大学コンソーシアムの概要

1 目的

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム（H27.4月設立）は、本県の高等教育機関(大学、短大、高専)それぞれが持つ特色や長所を活かし、高等教育機関の教育研究機能を向上させるとともに、それらの持つ知的資源を地域に還元し、地域の発展に貢献することを目的としている。

2 概要

(1) 理事長 伊東幸宏（静岡大学学長）

(2) 会員等（平成28年4月1日現在）

事 項	区 分	
会 員 (50)	正会員(41)	高等教育機関22校、静岡県、静岡市他16市町など
	準会員(2)	静岡県教育委員会、(公財)静岡県舞台芸術センター
	賛助会員(7)	静岡県商工会連合会他6団体
協力団体	静岡州市長会、静岡県町村会 他9団体	

(3) 平成28年度事業費 38,044千円

3 主な事業の概要

<p>○短期集中型単位互換事業</p> <p>地域に根差した人材育成等を目的として、本県地域の特性等について、大学間連携によるオムニバス形式で行う単位互換授業</p> <p>H27実績：「富士山の自然と社会」、実施日 10月3日～11月28日のうち4日 参加学生数5大学45人（応募学生123人）</p>
<p>○高校等出張講座</p> <p>高大連携の推進を目的として、大学等の教員が高等学校等へ出張し、高校生に対して講義を実施。H27実績：9高校12講座実施</p>
<p>○共同研究助成</p> <p>大学間、大学と地域の連携の促進及び学術研究の向上を図ることを目的として、地域課題解決等の研究への助成。H27実績：6件採択（31件応募）</p> <p>(研究課題の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域在住高齢者の健康増進を目指した就業のあり方に関する研究 ・観光立県・静岡の実現に向けて～外国人観光客のニーズ把握と新たな観光資源の開発～
<p>○ゼミ学生地域貢献推進事業</p> <p>大学のゼミ学生が直接地域に入り、地域課題の解決に取り組む実践的な活動へ助成。H27年度は18件に助成し（応募40件）、2月に開催した「地域・大学フォーラム」で、成果を発表。</p> <p>(活動テーマの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市天竜区佐久間町における地域づくりの方策の研究 ・富士宮市 中心市街地の回遊性についての研究
<p>○留学生支援事業</p> <p>県内大学に在籍する外国人留学生の就職支援や地域社会との交流支援等</p>

4 (公社) 富士のくに地域・大学コンソーシアムの事業

(1) 短期集中型単位互換授業

1 概要

複数大学の学生又は学生と地域の交流や、地域に関する知識の普及を目的とし、地域課題や地域振興をテーマとした大学間連携による共同授業を実施する。(県補助事業)

2 実施状況 (平成 27 年度)

授業科目名	富士山の自然と社会
実施年月日	平成 27 年 10 月 3 日、10 日、11 日、11 月 28 日 (4 日間)
実施場所	静岡県立大学、YMCA 東山荘、静岡県総合研修所もくせい会館
講師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県立美術館 学芸部長 ・ 富士のくに地球環境史ミュージアム 准教授 ・ 富士のくに地球環境史ミュージアム 主任研究員 ・ 静岡大学農学部 教授 ・ 静岡大学理学研究科 講師 ・ 静岡大学教育学部 教授
参加学生数	45 人 (うち単位付与者数 36 人)
授業の目標	<p>近年、富士山は文化的象徴として、また活火山としての両側面から社会的に注目を集めている。このような背景の下、お膝元である静岡県に暮らす者にとって、富士山の自然と人との関わりについて考えることは重要である。</p> <p>本授業では、地球科学、自然人類学、生物学、芸術文化、防災学の多様な視点から総合的に富士山について学び、その自然と人の関わりについて考えていくことを目標とする。</p>
授業内容	<p>2 日間の野外実習と 2 日間の集中講義から構成</p> <p>【1 日目】 富士山ー信仰と芸術ー 富士山の植物 富士山の周辺の自然人類学</p> <p>【2 日目】 富士山の生態系 (野外実習) 富士山の形成史</p> <p>【3 日目】 富士山の地形と地質 (野外実習)</p> <p>【4 日目】 富士山の火山学 富士山の災害と恵み</p> <p>※2 日目、3 日目は、合宿方式で実施</p>

4 (公社) ふじのくに地域・大学コンソーシアムの事業

(2) 西部地域連携事業実施委員会

1 概要

静岡県西部地域の大学がネットワークを結び、各大学の特色を生かして共同授業等を実施することで、総合的な大学教育を目指す。

2 構成員

大 学	国立：静岡大学 公立：静岡文化芸術大学 私立：静岡理工科大学、静岡産業大学、聖隷クリストファー大学、 常葉大学、浜松学院大学（同短期大学部）
市	浜松市、磐田市、袋井市
事 務 局	静岡文化芸術大学

3 実施事業（平成 27 年度）

(1) 共同授業

テ ー マ	人間と環境 ― ネット社会と生活 ―
実施年月日	平成 27 年 10 月 3 日（土）～ 平成 27 年 12 月 5 日（土） （土曜日 2 講義ずつ 8 回 計 16 講義）
実施場所	静岡文化芸術大学
講 師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡文化芸術大学文化政策学部 准教授 ・ 常葉大学経営学部 講師 ・ 静岡大学工学部 准教授 ・ 静岡産業大学 特任講師 ・ 聖隷クリストファー大学看護学部 講師 ・ (公財) 全国消費生活相談員協会 理事・消費者団体訴訟室長 ・ 静岡大学情報学部 准教授 ・ 浜松学院大学・短期大学部幼児教育科 教授
参加学生数	92 人（うち単位付与者数 74 人）（このほか一般市民等 11 人が参加）
備 考	単位認定校が開設する授業科目（2 単位）を参加大学・短大の学生に開放する方法により、共同授業を実施

(2) 共同研究事業（FD 研究部会）

西部地域連携事業実施委員会を構成する各大学における FD 活動の活動状況や成果、問題点のほか、今後の取組について FD 情報交換会を開催し、意見交換を実施。

5 「大学コンソーシアムへの支援」に関する事業レビューの結果

1 対象事業 「ふじのくに学術振興事業費（大学コンソーシアムへの支援）」

2 事業レビュー実施日 平成27年9月13日

3 事業レビューにおける具体的な意見

個別意見	コーディネーターによるまとめ
<ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアムを通して実施する意味がある事業なのか。 ・個別の大学が既にやっている事業内容ではないのか。 ・コンソーシアムの役割、具体的目標と時期及び付加価値を示すことが必要。 ・何をゴールにしているのか見えないと効果の判定は難しい。 ・コンソーシアムを使って、県内大学の持っている「知」から静岡学の方向性ができたら面白い魅力の一つになる。 ・県民カレッジ、生涯学習事業と同じ内容。統廃合したほうが良い。 ・産業の発展に結びついていないのではないか。民間企業を入れてお金を出させたら良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアムがいないということではなく、わざわざコンソーシアムを作ってやってもらっている甲斐が見えてこない。 ・コンソーシアムの役割と、具体的に目指すところと、いつまでに何をどうする、ということをはっきりしてほしい。 ・ふじのくに学術振興事業費の目的で書いてあるようなことを県がやるのではなくてコンソーシアムがやることによってこれだけ付加価値がでる、これだけ県ではできないことができる、ということを実現していただきたい。

4 事業レビューの結果

大きな効果がある	一定の効果がある	あまり効果がない
0	15	37

5 事業レビューへの対応（平成28年2月15日公表）

- ・「コンソーシアムの目標や未来のヴィジョン、役割を明確にすべき」との御意見を踏まえ、28年度から計画しているコンソーシアムにおける目標や事業などの見直し検討において、県としても、提案や助言を通じて、計画の作成や大学間連携等を図る新たな事業の検討を促していきます。
- ・また、コンソーシアムの事業として、「単位互換は評価する。今後も進めていくべき」との御意見を踏まえ、28年度に新たな単位互換科目を開設する予定であり、今後行うコンソーシアムにおける目標や事業などの見直し検討においても、更なる単位互換科目の強化について協議を進めていきます。

6 はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点

1 概要

ものづくり地域「浜松」の特徴を活かした技術力と産業開発力、進取の気質に「医療・医学」のシーズ・ニーズを加え、分野を超えた独創的技術の融合による多種多様な製品群の創出を目指して、産学官により『はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点』を設け、「健康・医療関連産業」を創出・確立していく。

(平成 21 年 12 月に科学技術振興機構の地域産学官共同研究拠点整備事業に採択)

2 内容

拠 点 名	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 (通称：はままつ医工連携拠点)
運営開始日	平成 23 年 4 月 1 日
期待される地域活性化	異分野・他分野の連携・融合によるハイレベルなアウトカムを目指して「医工連携」を進め、連鎖的・継続的な新技術の事業化とオンリーワン・ナンバーワンの製品の創出を推進することにより、健康・医療関連産業を基幹産業にする。
主な共同研究開発課題	先端医療開発特区（スーパー特区）課題の事業化及び関連技術のシーズ化、事業化・実用化ポテンシャルのあるシーズの事業化及び関連技術のニーズ発掘により、地域の強みを活かした医工連携・産学官共同研究の実施による浜松発のシーズの育成・企業化を推進するために、浜松医科大学、静岡大学及び光産業創成大学院大学と地域企業が密接に連携して共同研究を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ●浜松医科大学産学官共同研究センター（サイクロトロン棟、PET/CT 棟） 内視鏡手術ナビゲーター開発、内視鏡手術用超音波診断装置開発、手術用立体内視鏡開発、新規 PET 装置開発、レーザー血栓溶解装置開発、リンパ圧自動測定装置開発、プラズマ滅菌装置開発、新規顕微鏡システム開発、エキスパートシステム活用による医学教育DB構築 ●静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター レーザー装置活用に関する研究開発：先端光・電子技術を応用した医療機器の共同研究開発、金属等の 3 次元造形技術開発、熱影響の少ない加工処理技術開発、非熱的治療開発、光線療法・狭部治療研究開発
参 画 機 関	静岡県、浜松市、浜松医科大学、静岡大学、光産業創成大学院大学、浜松商工会議所、公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

7 県内大学の寄附講座等の実施状況

1 寄附講座

- ・県内各大学では、民間等の寄附金によって、人件費、研究費、運営費、管理費等を賄う「寄附講座」を実施している。

【平成 26 年度の状況】

(出典：各大学ホームページ)

	大学名	講座名・研究部門名	寄附者
1	静岡大学	先進車両エネルギー工学スズキ寄附講座	スズキ(株)
2	浜松医科大学	メディカルフォトンクス研究センター 応用光医学研究部門 医学分光応用寄附研究室	浜松ホトニクス(株)
3		地域医療学講座	中部電力(株)
4		児童青年期精神医学講座	静岡県
5		臨床医学教育学講座	(社福) 聖隷福祉事業団
6		地域周産期医療学講座	静岡県
7		産婦人科家庭医療学講座	静岡家庭医養成協議会
8		地域家庭医療学講座	静岡県
9		静岡県立大学	静岡県立大学・花王株式会社産学連携講座
10	静岡理工科大学	手外科微小外科領域先端医工学講座	(HP に記載なし)

2 その他（社会人による講義）

- ・静岡産業大学では、企業等の現役社員・職員を講師とし、当該講師の所属企業等の名称を講座名に付けた「冠講座」を実施している。

【講師企業等】

(出典：静岡産業大学ホームページ)

(経営学部)

中部電力(株)、磐田市、スズキ(株)、(株)ブリヂストン、ヤマハ発動機(株)、
浜松ホトニクス(株)、静岡県経済産業部、ジュビロ磐田、(一社) 静岡県環境資源協会、
(一社) 日本経営士会、静岡県立農林大学校、磐田信用金庫、浜松信用金庫

(情報学部)

藤枝ロータリークラブ、(株)静岡銀行、(株)シャンソン化粧品、藤枝市、(株)電通東日本、
TOKAI グループ、静岡市